

⑥ 健康文化都市の創造

●医療体制の充実

- ・総合医療センターの新病棟の完成にあわせ、最新医療機器のPET-CTの運用を開始し、他総合病院と連携しながら、がんの予防、がん医療水準の向上を図ります。
- ・総合医療センターの運営形態の検討を進めるとともに、医師・看護師などの医療スタッフの確保や経営改善に努めていきます。

●生涯にわたる健康づくり

- ・経済的な理由で治療を受けることができず、出産をあきらめることがないよう、一般不妊治療費の助成制度を創設します。
- ・乳がん検診の普及に努めるとともに、HPV検査を併用した子宮がん検診を実施し、がんの早期発見、早期治療を推進していきます。
- ・県や自死遺族の会と連携し、自殺予防に取り組みます。

●福祉・高齢者サービスの充実

- ・精神障がいによる長期入院患者の退院を促進するため、保証人が得られない精神障がい者に対す



▲「総合医療センター及び健康福祉拠点施設」完成予想図

- る家賃等の債務保証制度を創設し、地域での自立した生活への移行を促進していきます。
- ・老老介護による心理的・経済的負担の軽減を図るため、「老老介護支援事業」を10月から実施していきます。
- ・出雲・平田・湖陵・大社地域での高齢者福祉タクシー利用券交付事業の開始、佐田・多伎地域の外出支援事業の継続実施により、高齢者の外出機会確保を図ります。

行財政改革については、冒頭の基本方針で述べました以外にも、人件費の抑制や手数料・使用料の見直しなどに着手してきたところであり、出雲市行財政改革審議会答申を踏まえ、近く策定予定の第2期「行財政改革実施計画」に基づき、積極的に取り組んでまいります。

また、市の組織については、大胆な見直しにより部・課等を再編・改組し、市民にわかりやすく、スリムで効率的、機動的な組織を構築するため、本年4月に機構改革を行います。（※組織・機構の見直しについては、広報いずも3月25日号で詳しくお知らせします。）

終わりになりますが、私は年頭にあたり、市政運営に臨む思いを創造の「創」という一文字に託しました。この「創」という文字には、「はじめる」とか「はじめてつくる」、「物事をはじめる」などの意味があります。「市民と一緒に、誇りを持てる新たな出雲市を創る」との思いをこめたものであります。

昨年は、開かれた市政の具体化と行財政改革を中心に手掛けたところであり、言わば、助走期間でもありました。

10年、20年先も安心して暮らせる「五つ星の出雲市」をめざして、全力で取り組むことを申しあげて、新年度の施政方針といたします。



⑤ 人材育成都市の創造

●生涯学習・青少年育成

- ・出雲の歴史・伝統などを学ぶ「出雲國講座（仮称）」をはじめ、出雲科学アカデミー事業等の充実を図ります。
- ・青少年育成支援の基本となる「子ども・若者計画」の策定に取り組みとともに、社会生活上困難を有する子ども・若者を支援するネットワークを整備します。
- ・地域の課題解決に、市民と行政が連携して取り組むための協働のあり方を検討していきます。

●文化・スポーツの充実

- ・4月29日にオープンする「出雲弥生の森博物館」では文化財調査および研究の成果を公開展示するとともに、歴史学習の場として活用していきます。
- ・砂原遺跡については、詳細な分析調査結果を踏まえ、全国に情報発信していきます。
- ・出雲総合芸術文化祭は年間を通じて多彩なメニューを提供するとともに、芸術文化振興施策や事業のあり方について、全市民的視点で検討していきます。
- ・スポーツ振興では、引き続き全国トップレベルの大会や市民参加の大会を開催していきます。

●男女共同参画の推進

- ・ワーク・ライフ・バランスの推進と女性への暴力防止に向けた取り組みを重点的に進めていきます。

●集落支援

- ・地域共同体としての機能維持が困難になっている地域に「集落支援員」を配置し、現状把握と課題解決に取り組むとともに、限界集落等に対しては、ボランティアによる「集落応援隊」を導入し、支援を行っていきます。



▲昨年9月に開催した「出雲市青少年育成市民総決起集会」

●子育て支援

- ・保育環境の充実と待機児童の解消を図るため、保育所の改築整備を進めていくとともに、北陽こどもクラブの移転新築や荒木児童クラブの移転整備を進めるなど、放課後児童クラブの環境改善を図っていきます。

●教育委員会機能の強化・教育運営システムの充実

- ・より開かれた教育委員会にするため、情報公開や広聴機能を強化していきます。
- ・学校の応援団である地域学校運営理事会の更なる充実を図ります。

●学校教育等の充実

- ・各学校において、「心の教育」を積極的に行うとともに、生命の大切さや子どもの人権擁護についての教育を強力に推進していきます。
- ・特別支援教育については、「特別支援教育推進委員」による巡回相談やスクールヘルパー体制などの充実を図り、支援体制を強化します。
- ・「同和教育をすべての教育活動の基底に据えた取り組み」を各学校において徹底するとともに、関係機関と連携し、本市におけるさまざまな人権問題の解決に一層努力していきます。

●学校施設等の整備

- ・学校施設の耐震診断結果に基づき、平田小学校南校舎の耐震補強工事を実施します。
- ・平田地域東部の新中学校の実施設計に着手するとともに、佐田中学校の改築に向けた造成計画等の予備調査を進めていきます。
- ・平田・大社の学校給食センターの再編整備については、新東部学校給食センター（仮称）の建設に向け、敷地造成二期工事の実施、建築・設備の実施設計に着手します。



▲4月29日（昭和の日）開館予定の出雲弥生の森博物館